

お客さま本位の業務運営の取組状況 (フィデューシャリー・デューティー)

< 2026年3月末時点 >



2025年度の取り組み状況及び共通KPIの公表について

- 玉島信用金庫は資産運用関連業務におけるお客さま本位の業務運営を実践するために、2017年9月に「お客さま本位の業務運営（フィデューシャリー・デューティー）に関する取組方針について」を公表しました。
- このたび、2025年度の当該方針に係る取組状況および共通KPIを以下の通り公表します。

【参考】

フィデューシャリー・デューティーとは「顧客本位の業務運営」のことである。金融庁はこの「顧客本位の業務運営」を実現するため、平成29年3月30日に「顧客本位の業務運営に関する原則」を公表した。各原則は以下の7項目である。

- 【原則1】 顧客本位の業務運営に係る方針の策定・公表等
- 【原則2】 顧客の最善の利益の追求
- 【原則3】 利益相反の適切な管理
- 【原則4】 手数料等の明確化
- 【原則5】 重要な情報の分かりやすい提供
- 【原則6】 顧客にふさわしいサービスの提供
- 【原則7】 従業員に対する適切な動機づけの枠組み等

顧客本位の実践と仕組み 【原則2】【原則6】【原則7】

- お客さまの最善の利益の実現に向けて、お客さまの的確なニーズを把握し、お客さまにふさわしい商品・サービスを提供するため、複数回面談や時間をかけたヒヤリングを心掛けています。
- お客さまのライフステージや投資目的等を確認したうえで経済動向や金融情勢等を鑑みお客さまのニーズに適う複数の商品を提案しています。
- 長期かつ安定的な資産形成を実現していくため、手数料収入を目的とした乗換勧誘や短期売買は推奨しておらず、リスク許容度に応じて複数商品の中から最適な商品を提案しています。
- また、新NISA制度になり、お客さまに非課税のメリットを享受していただくため、NISAを各店舗積極的に推進しており、制度の周知および利用促進に努めています。

利益相反の適切な管理 【原則3】【原則7】

- 当金庫は利益相反のおそれのある取引については、お客さまの利益を不当に害することのないよう適正に業務を遂行しています。
- 融資先に対しては事前に内部管理責任者や営業責任者の承認を得てから提案を行っており、お客様の利益を最優先した適切な販売が行える体制をとっています。
- お客さまとの個別の取引は担当部署で管理を行い、該当の情報については利益相反管理統括部署が集約し、対象取引の特定管理を徹底しています。

※当金庫は『利益相反管理方針』をHPにて公表しています。

<https://www.shinkin.co.jp/tamashima-sk/guide/policy/riekisouhan.html>

手数料の明確化 【原則4】

- お客さまに負担いただく手数料やその他費用について、その手数料等がどのようなサービスの対価に関するものかを含め、分かりやすく説明しています。
- 各商品のパンフレットおよび目論見書に加え、当金庫の取扱全商品の購入時手数料・信託報酬等の諸費用を一覧管理で確認できる『投資信託ライナップ』を作成し、必ず手交しています。

[illegible]

投資信託

ラインナップ

資産の運用、たましんと一緒に
考えてみませんか？

投資信託の特徴

投資信託とは、たくさんのお客さまからお預かりした資金をひとつにまとめ、運用の専門家である投資信託会社や、国内外の株式や債券、不動産投資信託などに投資（運用）し、その運用成果をお客様に分配するという仕組みの金融商品です。

特徴① 少額から投資ができます。

お客様からの資金をまとめることで、多くの資金を必要とする有価証券や不動産などに投資することが可能です。

特徴② 投資の専門家に運用を任せることができます。

専門的な知識を持ち、経験豊かな投資の専門家がお客様に代わって運用します。

特徴③ 分散投資ができます。

1つのファンドを購入するだけで、いろいろな国や地域の株式や債券、不動産など幅広い種類の資産に分散が可能です。

特徴④ お客様にあったファンドが選べます。

さまざまな資産に投資する商品が複数あるため、お客様のニーズに合った商品を選ぶことができます。

国内株式
国内債券
海外株式
海外債券
リート

三島信用金庫
Sanjimon Credit Union

重要な情報の分かりやすい説明 【原則5】【原則6】

- 商品ごとの目論見書や運用レポート等を使用し投資経験の有無に関わらず、わかりやすい用語や表現で、お客さまの理解が深まるように努めています。
- 半年に1度、アフターフォローを通じて、保有資産の状況や市場動向等、お客さまの資産形成・運用に応じた適時適切な情報を提供しています。
- お客さまの金融、投資、商品知識の向上等を目的にお客さま向けの資産運用セミナーを開催しています。
- 当金庫HP内に投資信託専用サイトを設け、当金庫の取扱商品のラインナップの掲載、投資信託の仕組みやリスクとリターンの考え方、複数ファンドの比較等の情報を提供しています。



顧客にふさわしいサービスの提供 【原則2】【原則4】【原則6】

●充実の商品ラインナップ

投資信託**55銘柄**、保険商品**26商品**を取り揃えており、お客さまのニーズに合った金融商品サービスを提供しています。

●ご高齢の方、投資経験が初めてのお客さまへの対応について

高齢者や投資経験初心者のお客さまの提案にあたっては、複数回の面談・家族への相談や同席を推奨しています。また、投資経験が初めてのお客さまについても複数回面談を行い、お客さまが熟考し理解いただいた上での販売に努めています。

●投信インターネットサービスの取り扱いについて

平日窓口へ来店が難しいお客さまが、当金庫の投資信託のサービスを利用いただけるよう『**投信インターネットサービス(投信IS)**』の取り扱いをしています。

●「マネープランガイド」「人生100年時代」を活用して、お客さまの貯蓄状況やライフプラン、資産形成の目的を認識し、金融商品のリスクや商品ごとの内容・特徴を説明しています。

●相続・事業承継に関するご家族のサポートをするため、専門部署の設置や外部との業務提携をし、**遺言信託代用型信託・暦年贈与型信託**等の取扱いも行っています。

不動産をお持ちのお客さまへの相続対策やお子様のいないご夫婦向けの相続準備等、様々なサポートを行っています。



役職員に対する適切な動機付けの枠組み

【原則3】【原則7】

ファイナンシャルプランニング技能検定取得者数

お客様の資産状況・ライフプラン・ニーズに合わせたマネープランを立案・アドバイスができるように、ファイナンシャルプランニング技能検定の推進を行っています。

	FP1級	FP2級	合計
資格取得者数	5	118	123

(単位:名)

内外部研修による学びの場の提供

投信運用会社のWEB研修の導入や外部研修の導入等、いつでも職員が金融知識の習得に取り組むことができる環境を提供しています。

また、管理者に対して、安定的な資産形成を実現するために販売体制の構築を目的とした、証券業務のコンプライアンス研修を年1回実施。その他、内部管理責任者や預り資産推進担当職員に対して原則2～3ヵ月に1度、研修を実施しています。

資産運用セミナーの開催

2025年度の資産運用セミナーについては、全体やブロック別だけではなく、取引先等を中心に個別でも開催いたしました。(開催回数:19回)

アフターフォロー実施率100%

投資信託を購入いただいたお客様のうち、アフターフォロー不要対象先を除くすべてのお客様に対して、確実にアフターフォローを実施する体制を整えています。

共通KPI

・金融庁が2018年6月に公表した「投資信託の販売会社における比較可能な共通KPI(以下、共通KPI)」に基づき、2025年3月末で算出した数値を公表いたします。

「投資信託運用損益別顧客比率」
「投資信託預かり残高上位20銘柄」
「投資信託の預かり残高上位20銘柄のコスト・リターン」
「投資信託の預かり残高上位20銘柄のリスク・リターン」

投資信託運用損益別顧客比率

投資信託を保有しているお客さまについて、基準日時点の保有投資信託に係る購入時以降の累積の運用損益(手数料控除後)を算出し、運用損益別にお客さまの比率を示した指標です。

投資信託の預かり残高上位20銘柄のコスト・リターン

・設定後5年以上の投資信託の預かり残高上位20銘柄について、銘柄毎及び残高加重平均のコストとリターンの関係を示した指標です。
・この指標は中長期的に、どのようなリターン実績を持つ商品をお客さまに提供してきたかを見ることができます。

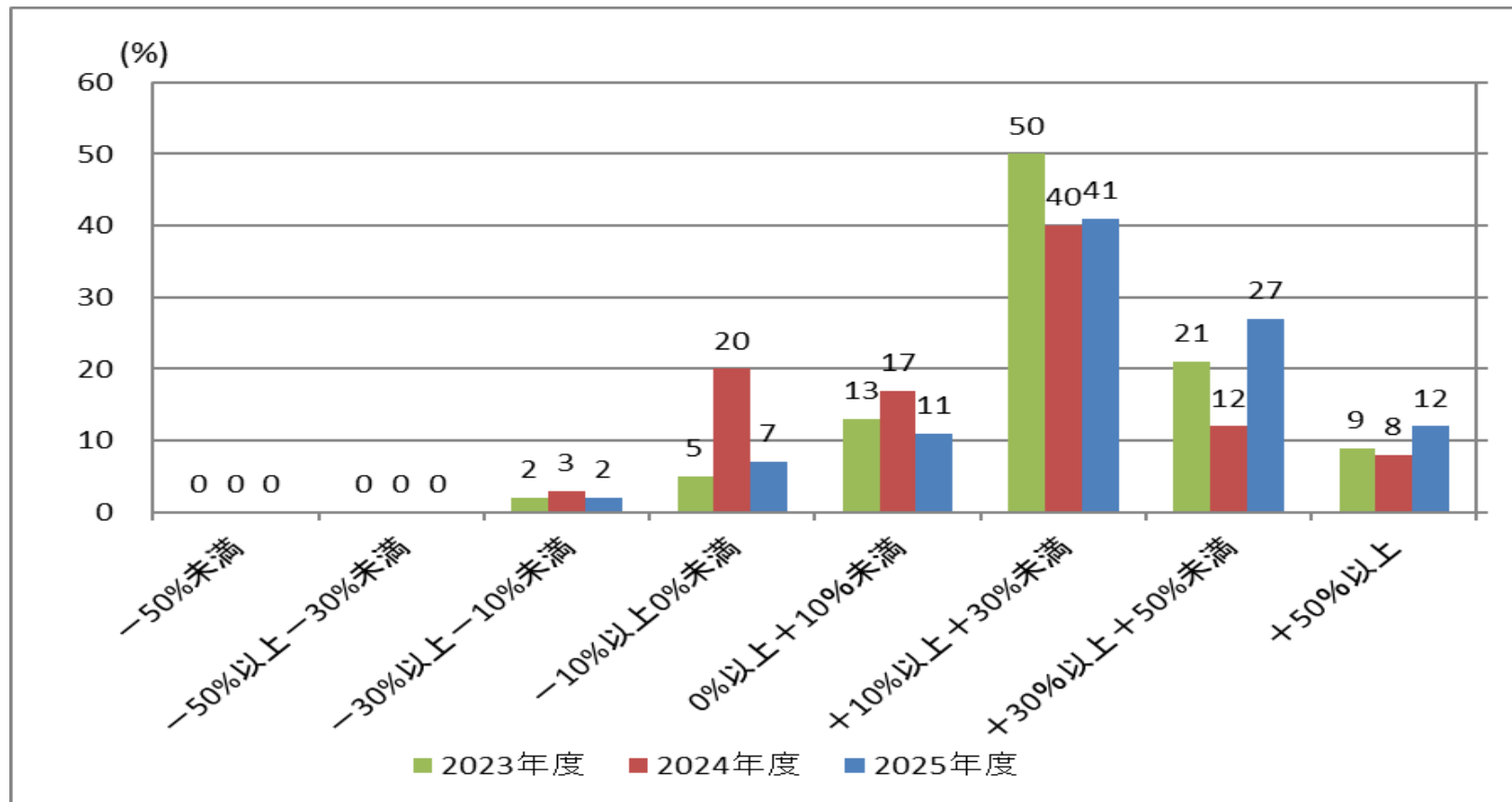
投資信託の預かり残高上位20銘柄のリスク・リターン

・設定後5年以上の投資信託の預かり残高上位20銘柄について、銘柄毎及び残高加重平均のリスクとリターンの関係を示した指標です。
・この指標は中長期的に、どのようなリターン実績を持つ商品をお客さまに提供してきたかを見ることができます。

投資信託運用損益別顧客比率 ※共通KPI

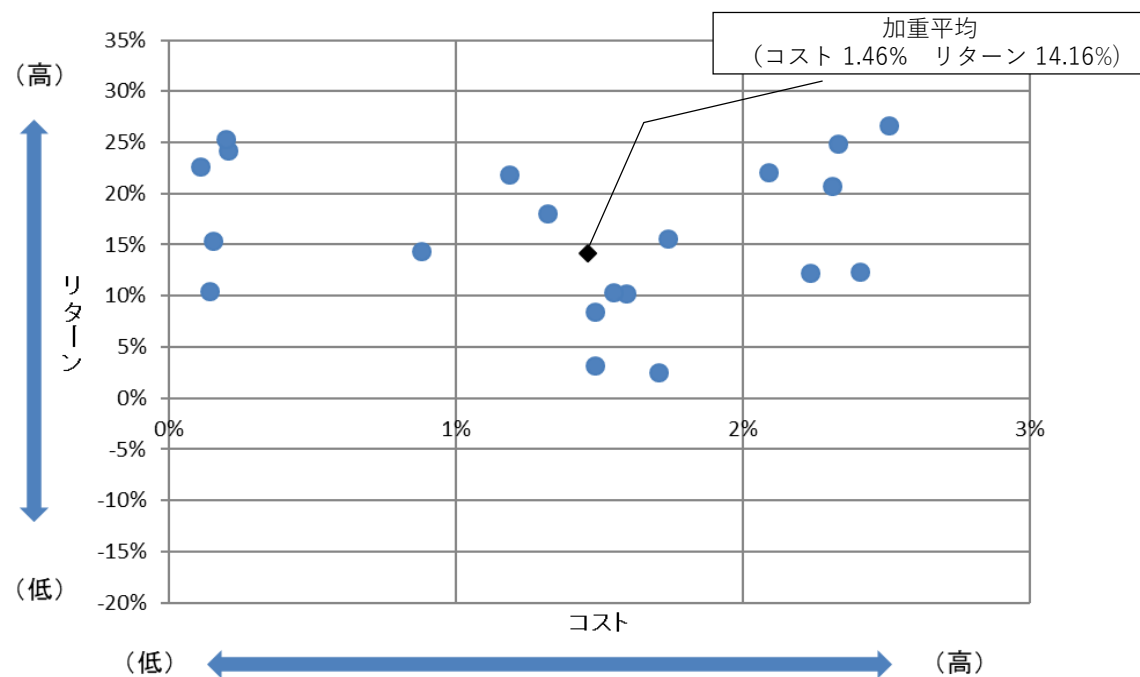
2026年3月末の運用損益別顧客比率において、運用収益がプラス(0%以上)のお客さまは91%(2,486人)、運用収益がマイナス(0%未満)のお客さまは9%(289人)となりました。前年同月末と比較し、運用収益がマイナス(0%未満)のお客さまは、14%減少しております。

要因としては、企業業績の改善や金利安定化を背景に株価指数が堅調に推移し、特に米国株・日本株が過去最高を更新するなど、市場環境が大きく改善されたことが挙げられます。国内では、高市政権による成長戦略や投資推進策への期待が追い風となりました。さらに、急速な金利上昇が落ち着き、為替市場でも過度な円高が緩和したことが要因と考えられます。

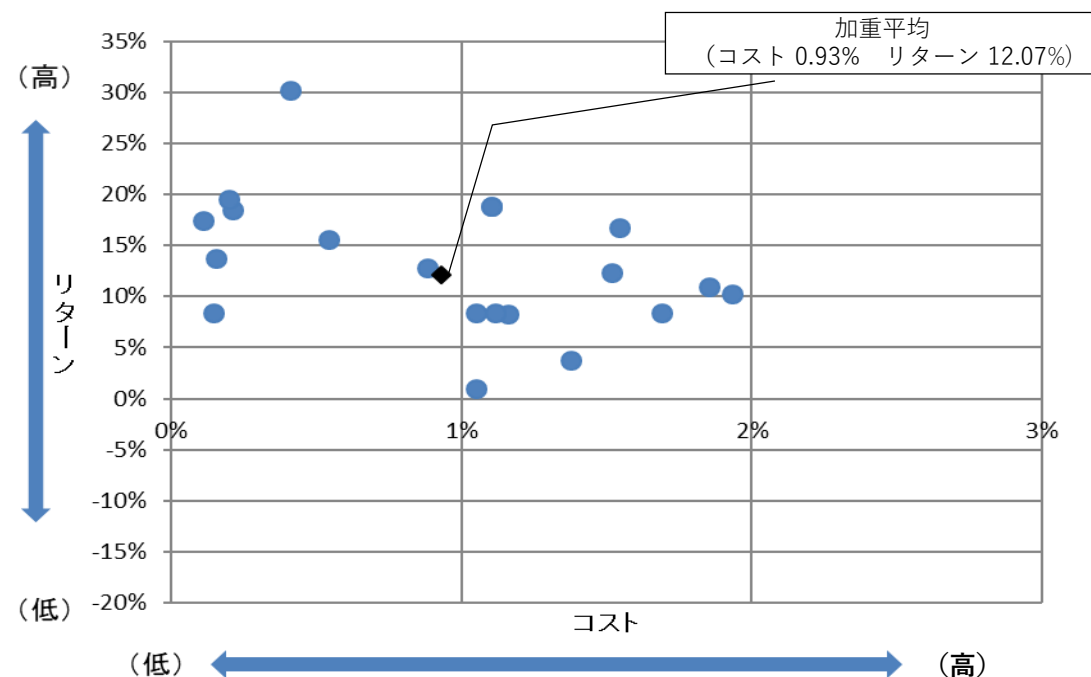


コスト・リターン ※共通KPI

投資信託の預かり残高上位20銘柄のコスト・リターン（2025年3月末時点）



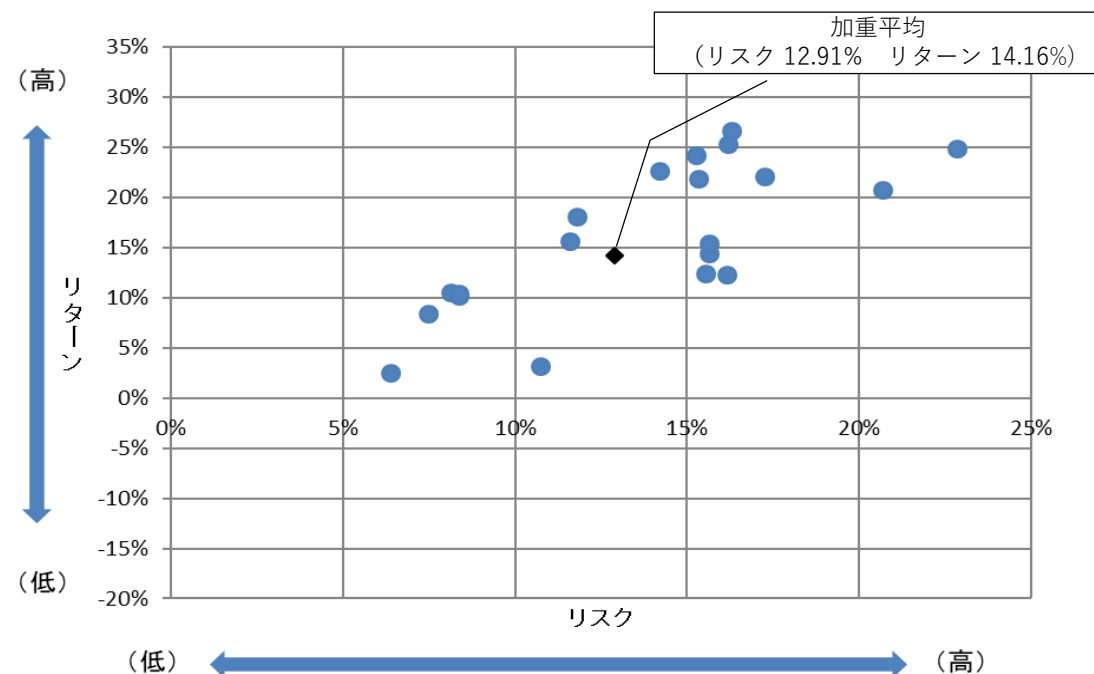
投資信託の預かり残高上位20銘柄のコスト・リターン（2026年3月末時点）



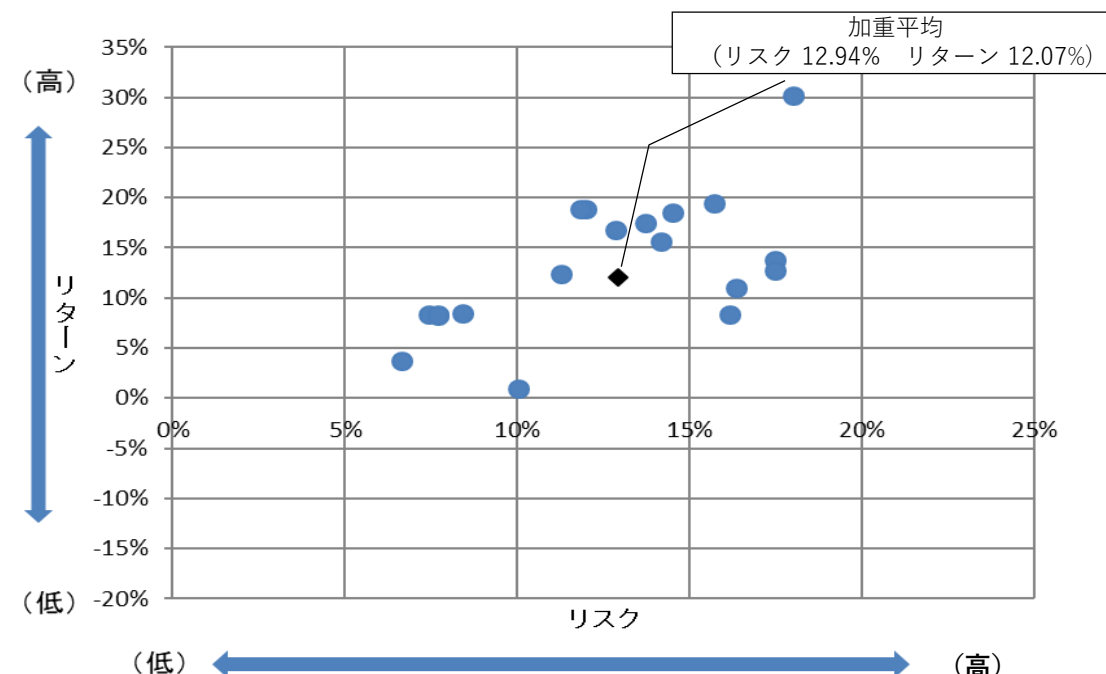
- ・ 投資信託預かり残高上位20銘柄のうち、設定後5年以上の投資信託について、コストとリターンを表示しています。2026年3月時点の平均コストは0.93%（前年比-0.53%）、平均リターンは12.07%（前年比-2.09%）となりました。
- ・ 上記数値等は、あくまで過去の実績であり、将来の運用益をお約束するものではありません。

リスク・リターン ※共通KPI

投資信託の預かり残高上位20銘柄のリスク・リターン（2025年3月末時点）



投資信託の預かり残高上位20銘柄のリスク・リターン（2026年3月末時点）

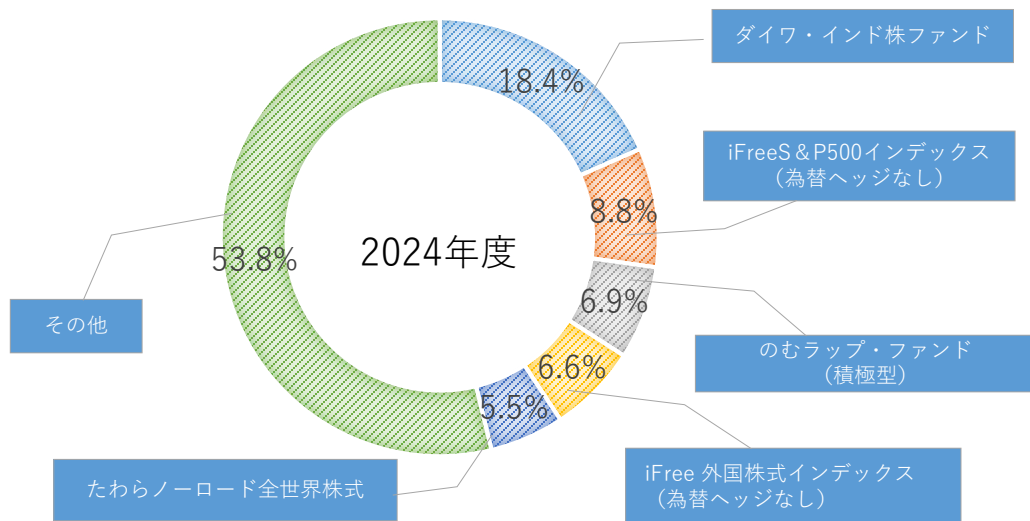


- ・ 投資信託預かり残高上位20銘柄のうち、設定後5年以上の投資信託について、リスクとリターンを表示しています。2026年3月時点の平均リスクは12.94%（前年比+0.03%）、平均リターンは12.07%（前年比-2.09%）となりました。
- ・ 上記数値等は、あくまで過去の実績であり、将来の運用益をお約束するものではありません。

投資信託販売実績の推移【原則5】【原則6】※共通KPI

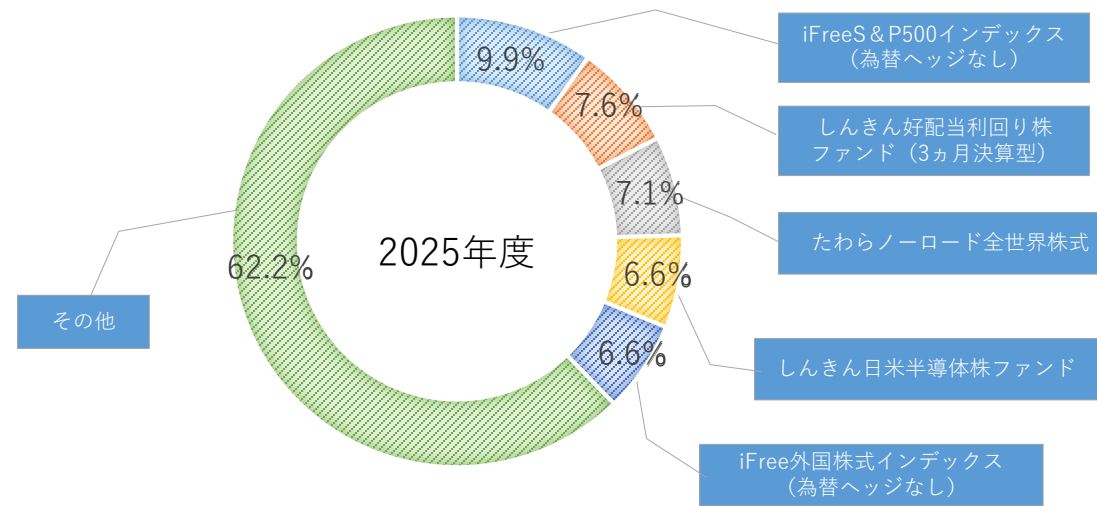
2024年度販売実績

順位	ファンド名	金額(千円)
1	ダイワ・インド株ファンド	250,340
2	iFreeS & P500インデックス(為替ヘッジなし)	119,631
3	のむラップ・ファンド(積極型)	94,140
4	iFree 外国株式インデックス(為替ヘッジなし)	89,731
5	たわらノーロード全世界株式	75,492
6位以下	その他	733,634
合計		1,362,969



2025年度販売実績

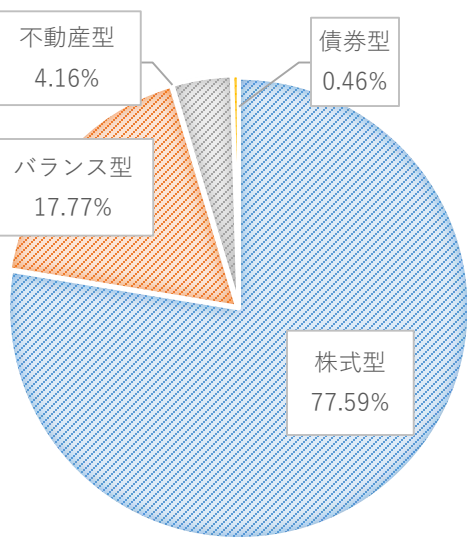
順位	ファンド名	金額(千円)
1	iFreeS & P500インデックス(為替ヘッジなし)	141,893
2	しんきん好配当利回り株ファンド(3ヵ月決算型)	109,122
3	たわらノーロード全世界株式	102,871
4	しんきん日米半導体株ファンド	95,249
5	iFree 外国株式インデックス(為替ヘッジなし)	94,693
6位以下	その他	895,876
合計		1,439,705



- ・2025年度は、長期・分散・積立による資産形成を目的とした、つみたて投資枠専用ファンド「iFreeS & P500インデックス(為替ヘッジなし)」 「たわらノーロード全世界株式」「iFree外国株式インデックス(為替ヘッジなし)」が販売実績の上位に入りました。
- ・高配当株が市場で強く支持され、市場環境の安定化が追い風となったことから、成長投資枠対象ファンドでは、「しんきん好配当利回り株ファンド(3ヵ月決算型)」が上位となりました。
- ・毎年、お客さまのニーズや各ファンドの運用成績・コスト、市場環境等を踏まえ、最適な商品の提供に努めています。
- ・お客さまの要望に沿った資産形成および資産運用の一助となるよう、情報を提供しています。

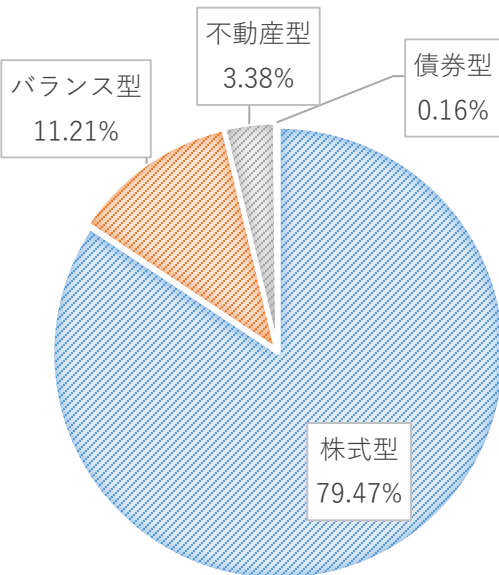
投資対象別販売実績の推移【原則5】【原則6】【原則7】※共通KPI

2024年度販売実績



区分	ファンド数	金額(千円)	割合
株式型	38	1,035,628	75.98%
	うち、国内	13	207,987
	うち、国外	13	608,161
	うち、国内外	12	219,480
バランス型	18	237,197	17.40%
	うち、国内	2	1,260
	うち、国外	1	119
	うち、国内外	15	235,818
不動産型	8	55,615	4.08%
	うち、国内	3	25,016
	うち、国外	3	29,359
	うち、国内外	2	1,239
債券型	20	6,267	0.45%
	うち、国内	3	815
	うち、国外	13	4,901
	うち、国内外	4	550
その他	1	28,263	2.07%
	1	28,263	2.07%
合計	85	1,362,969	100%

2025年度販売実績



区分	ファンド数	金額(千円)	割合
株式型	38	1,144,155	79.47%
	うち、国内	13	314,280
	うち、国外	13	514,371
	うち、国内外	12	315,503
バランス型	18	161,382	11.21%
	うち、国内	2	89
	うち、国外	1	118
	うち、国内外	15	161,174
不動産型	8	48,794	3.38%
	うち、国内	3	22,535
	うち、国外	3	25,102
	うち、国内外	2	1,157
債券型	20	2,330	0.16%
	うち、国内	3	33
	うち、国外	13	1,721
	うち、国内外	4	574
その他	1	83,042	5.77%
	1	83,042	5.77%
合計	85	1,439,705	100%

※単位未満を切り捨てて掲載しております。そのため合計が合致しない場合がございます。

- ・2024年度から引き続き、2025年度も株式型投信の販売が増加しました。株式型投信の中では、海外を投資対象とするファンドを購入されるお客さまが多いですが、2024年度と比較すると国内を投資対象とするファンドを購入されるお客さまが増加しました。
- ・2025年度の国内株式市場は、株高・円安・企業業績期待の3点が揃い、国内株への投資魅力が高まったことが要因と考えられます。
- ・バランス型、不動産型、債券型の販売実績は減少しました。

投資信託預かり残高上位20銘柄の詳細【原則2】【原則4】【原則6】※共通KPI

銘柄名	コスト	リスク	リターン
① しんきん3資産ファンド(毎月決算型)	1.05%	7.43%	8.36%
② 新光 US-REIT オープン	1.69%	16.16%	8.36%
③ iFree 外国株式インデックス(為替ヘッジなし)	0.21%	14.50%	18.48%
④ しんきんJリートオープン(毎月決算型)	1.05%	10.02%	0.96%
⑤ iFree S&P500インデックス	0.20%	15.73%	19.50%
⑥ iFree 日経225インデックス	0.15%	17.50%	13.79%
⑦ ダイワ・インド株ファンド	1.85%	16.36%	11.01%
⑧ しんきんインデックスファンド225	0.88%	17.50%	12.76%
⑨ たわらノーロード バランス(8資産均等型)	0.14%	8.40%	8.45%
⑩ たわらノーロード 全世界株式	0.11%	13.71%	17.44%
⑪ のむラップ・ファンド(積極型)	1.52%	11.27%	12.36%
⑫ しんきんグローバル6資産ファンド(毎月決算型)	1.16%	7.69%	8.26%
⑬ しんきん好配当利回り株ファンド	1.10%	11.97%	18.89%
⑭ グローバル・ソブリン・オープン(毎月決算型)	1.38%	6.63%	3.79%
⑮ しんきん好配当利回り株ファンド(3ヵ月決算型)	1.10%	11.85%	18.88%
⑯ ゴールド・ファンド(為替ヘッジなし)	0.41%	18.00%	30.25%
⑰ しんきん世界好配当利回り株ファンド(毎月決算型)	1.55%	12.86%	16.75%
⑱ 三井住友・NYダウ・ジョーンズ・インデックスファンド(為替ノーヘッジ型)	0.54%	14.16%	15.58%
⑲ しんきんグローバル6資産ファンド(1年決算型)	1.12%	7.69%	8.37%
⑳ グローバルAIファンド	1.93%	25.32%	10.29%
残高加重平均	コスト	リスク	リターン
	0.93%	12.94%	12.07%

NISA口座数の推移【原則2】【原則6】※共通KPI

	2023年度	2024年度	2025年度
NISA口座数	2,473	2,421	2,453

- ・ 2025年度はNISA口座数が32口座増加しました。
- ・ 職域先での資産運用セミナーの実施や、世帯取引の拡大に向けた推進を行い、当金庫でNISAを開設されるお客さまが増加しています。
- ・ 投信ISの活用推進や、お客様一人ひとりのライフプランに寄り添った資産形成のサポートを通じて付加価値向上に努めています。
- ・ 今後もお客さまにとって最適な商品、サービスの提供や適切なフォローアップができるよう、サポートします。

